

犬儒派リーディングアクト

朗読公演 Vol.10

犬

原案

谷崎

「人魚の嘆き」

「桜の森の満開の下」

坂口

井原
「好色五人女」

★第10回記念公演★

桜の森の NANA

宇鉄菊三

(tsumazuki no ishi)

北澤小枝子

(HANATOMO 演仕屋)

天才ナカムラスペシャル

愛弓

小倉昌之

(劇団娯楽天国)

天才ナカムラスペシャル

脚色・構成・演出

2025 年 8 月 22 日(金)～25 日(月) アトリエ三軒茶屋

◎犬儒派リーディングアクトとは…◎

役者・アーティストとして活動する天才ナカムラスペシャルが主宰する実験的朗読ユニット。

2020 年にステージ 4 の咽頭がんを宣告され一時は声を失いかけながらも、4 度におよぶ大手術と壮絶な闘病生活を経たのち奇跡的に声を取り戻した天才ナカムラスペシャルが、“声による表現”を改めて模索する場として 2022 年に結成。

コロナ禍以降の演劇界に跋扈する数多の朗読劇とは対極を成す、その独自の世界観、綿密な構成と実験的手法に裏打ちされた摩訶不思議な作風が注目を集め、とくに 2024 年の公演『シン・ニンゲンイス』以降、観客動員数を伸ばし続けている。



Photo by Kazushi Yoshida

天才ナカムラスベシャルさんがどんな人で、これまでにどんなご経験をされているのか知らないで、お声とお姿から勝手に想像してしまうのだが、荒波にのまれて漂う長旅から何かを持って帰ってきた人みたいに見えるでしょう。舞台を観たのは数カ月前なのだが、いつも出発点に立っているような初々しさと、巧妙に練られた物語を組み上げる手つきが今も胸に残っている。それに惹かれてまた観たくなってしまふのだ。

くるみ しん

江戸川乱歩の小説を大胆な解釈で換骨奪胎した 2024 年の公演『シン・ニンゲンイス』『江川蘭子の数奇な運命』、そして前作『押絵と旅する女たち』で各方面から高い評価を得た〈犬儒派リーディングアクト〉が、“第10回記念公演”と銘打ってお届けする最新作『桜の森のNANA』。坂口安吾の「桜の森の満開の下」をモチーフに、谷崎潤一郎の異色短編「人魚の嘆き」、さらに井原西鶴の「好色五人女」の世界観を融合させ、唯一無二の実験朗読劇として再構築。2025年の真夏に送る、桜の花に纏わる世にも歪な偏愛奇譚…！！

美と狂気の
の



宇鉄 菊三



北澤 小枝子



天才ナカムラスベシャル



愛弓



小倉 昌之

愛もまた

7
月
21
(月)

8月22日(金)/23日(土)/24日(日)/25日(月)
各日とも 15:00 開演 (受付・開場は開演20分前から)

	8/22金	8/23土	8/24日	8/25月
15:00				



料金 3,000 円 (全席自由・要予約)

予約・問い合わせ kenjuha2022@yahoo.co.jp

※ご予約はメールまたは予約フォームよりお願いします。
※小さな会場ですので座席数に限りがございます。
ご予約はお早めをお願いします。
※メールにてご予約の際は、日時・人数・ご予約名をお知らせください。確認後、返信メールをお送りします。



会場 アトリエ三軒茶屋
(世田谷区三軒茶屋1丁目39-5)

田園都市線・三軒茶屋駅南口Aを出てすぐ、徒歩1分



X @kenju_ha

専用予約フォーム

【company staff】竹田真登／吉田和司／村井美波子／栗栖大河

【special cooperation】株式会社 AQUA／劇団娛樂天国／tsumazuki no ishi／HANATOMO演仕屋／藤原啓児／小宮孝泰